

Cloud Native Week

2023 SUMMER

開催日時：2023年6月19日(月)～6月22日(木)
申込締切：2023年3月17日(金)

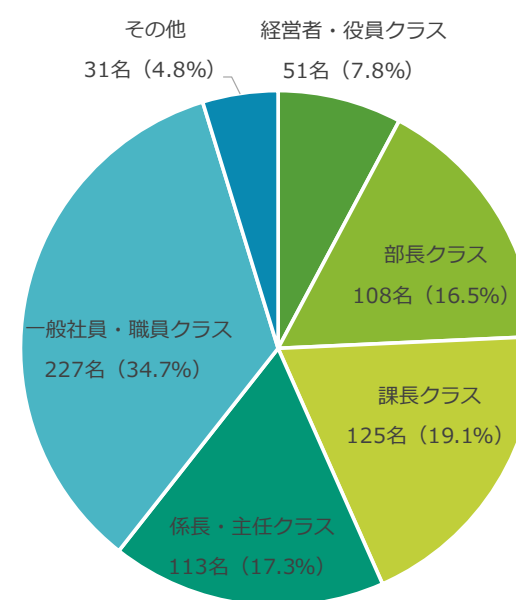
SUMMARY

名称	@IT Cloud Native Week 2023夏
主催	
開催日時	2023年6月19日(月)～6月22日(木) ※調整中
申込締切	2023年3月17日(金)
イベント形式	集合型オンラインセミナー
事前申込者数	約400名想定
想定視聴者属性	経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者、SIer など

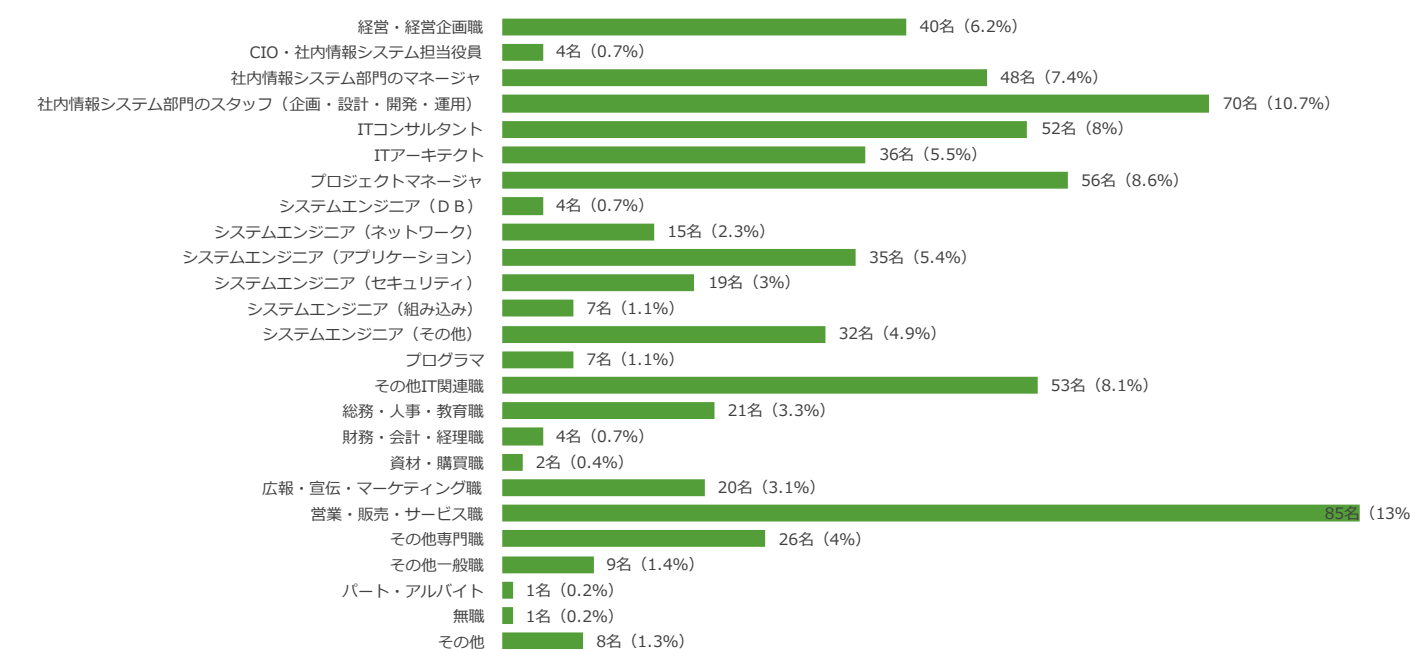


過去開催：申込者数 655名

来場者役職



来場者職種



N=655

世間ではDX、DXといつまでも騒がれているが、
一体いつになったら成果を獲得できるのか？
一体いつになったらPoCを卒業できるのか？
そもそもその技術は誰のため、何のためのものだったのか？
答えは明白だ。

開発チーム、自社の効率化のためではない。顧客のため、ビジネスのためだ。

そろそろ社内外を問わずエンドユーザーに向けて、
その技術ノウハウを使って「プロダクト」を作り、
喜んでもらい、お金や効率に還元すべきなのではないだろうか。

そもそも「プロダクト」とは何か？
クラウドネイティブの各種技術ノウハウをそこにどう役立てればいいのか？

なぜコンテナやKubernetesをハイブリッドで持つ必要があるのか？
「ミッションクリティカルな領域だから」がやらない理由に本当になるのか？
セキュリティが不安だから「やれない」「データを活用しない」
「DecSecOpsなんて無理」で本当にいいのか？
本当に知るべきは「先行企業はクラウドネイティブをどう実益につなげているのか」
ではないのか？

メディアとしても「クラウドネイティブという言葉」に走りすぎた反省を込めて贈る
“実ビジネスとしてのクラウドネイティブ”にどっぷりつかると3日間。

PRODUCER'S COMMENT

SUMMARY

Section1

プロダクトマネジメント ～顧客体験価値をどう作るか～

顧客価値のビジネス価値を最大化するためのプロダクトマネジメントに欠かせないもっとも基本的かつ本質的なポイントを徹底解説する。

Section2

開発・運用 ～価値提供までのリードタイムを どう短縮するか～

経営環境変化が早い中でも、クラウドネイティブを実践して実益を勝ち取る開発・運用プロセスを伝授する。

Section3

セキュリティ ～ビジネス価値を守るために どうすべきか～

クラウドネイティブを実践していてもセキュリティが後れを取れば、社会的信頼を失うリスクがある。よくある失敗を振り返りつつ、「言葉先行のDevSecOps」の実像をつまびらかにする。

THEME

Section1 プロダクトマネジメント～顧客体験価値をどう作るか～

概要

これまでは速く作る、速くリリースすることばかりがフォーカスされてきたが、それが実益に還元されなければ意味がない。

提供スピードだけではなく、どうすれば使ってもらえるのか、喜んでもらえるのか、お金を払ってくれるのか、クラウドネイティブのビジネス価値を最大化するもっとも基本的かつ本質的なポイントを徹底解説する。

キーワード

CX（カスタマーサクセス）支援、プロダクトマネジメント支援、プロダクトマネジャー・プロダクトオーナー支援、SRE支援、APM（アプリケーションパフォーマンス監視）製品／サービス、ビジネスモデル構築／検証、新規事業支援

視聴者の課題

プロダクト開発がPoC止まりで終わらないために、組織としてどのような取り組みが重要か知りたい

高品質なプロダクトを安定運用するために何をすればいいか知りたい

新規プロダクト企画、開発のマネジャーになったがどう進めればいいか分からない

THEME

Section2 開発・運用～価値提供までのリードタイムをどう短縮するか～

概要

「スピード」「リードタイム短縮」はクラウドネイティブ実践のメリットとして広く浸透し、そのノウハウ・手段の情報も非常に多く流布している。

だが、「実践者」はいまだ限定的だ。経営環境変化が早い中でも実益を勝ち取る開発・運用プロセスを、今改めて伝授する。

キーワード

アジャイル開発やDevOps、CI/CDの導入支援、マイクロサービス、コンテナ/Kubernetes向けソリューション、内製化支援ツール/サービス、CI/CDの計測による高速化、コンテナ/Kubernetes環境における可観測性（オブザーバビリティ）、APM（アプリケーションパフォーマンス監視）製品/サービス、API公開支援/管理製品、マルチクラウド管理/監視ソリューション、分散クラウド管理製品、統合運用管理

視聴者の課題

従来型の開発プロセスからCI/CDへの変革の方法が分からない

クラウドネイティブ開発に必要なスキルセット/ツールセットが分からない

アジャイル/DevOpsを実践する上で、開発者に求められる役割が知りたい

THEME

Section3 セキュリティ～ビジネス価値を守るためにどうすべきか～

概要

クラウドネイティブ技術を駆使してプロダクトを作っても、そこに脆弱性が残っているとビジネス価値が毀損されるどころか、社会的信頼をも一夜にして失ってしまう。スピードを担保しながらも「信頼される」「儲かる」アプリを確実に作り込むためにはどうすればいいのか。よくある失敗を振り返りつつ、「言葉先行のDevSecOps」の実像をつまびらかにする。

キーワード

クラウド ネイティブ セキュリティ、コンテナセキュリティ、マイクロサービスセキュリティ、マルチクラウドセキュリティ、APIセキュリティ、ペネトレーションテスト、脅威モデリング、DevSecOps、OSS脆弱性、脆弱性管理、CASB、CSPM、IDaaS、パスワードレス認証

視聴者の課題

クラウドネイティブを実装するために、必要なセキュリティの最新トレンドや要点を知りたい

TIME TABLE

- ▼各セッション枠時間
 ・基調講演：40分
 ・スポンサーセッション：30分

	Section1 プロダクトマネジメント ～顧客体験価値をどう作るか～	Section2 開発・運用 ～価値提供までのリードタイムを どう短縮するか～	Section3 セキュリティ ～ビジネス価値を守るために どうすべきか～	Section4 専用ゾーン ダイヤモンドプラン
13:00～13:40	基調講演 1-1	基調講演 2-1	基調講演 3-1	基調講演 4-1
13:50～14:20	スポンサーセッション 1-1	スポンサーセッション 2-1	スポンサーセッション 3-1	スポンサーセッション 4-1
14:30～15:00	スポンサーセッション 1-2	スポンサーセッション 2-2	スポンサーセッション 3-2	スポンサーセッション 4-2
15:10～15:40	スポンサーセッション 1-3	スポンサーセッション 2-3	スポンサーセッション 3-3	基調講演 4-2
15:50～16:20	スポンサーセッション 1-4	スポンサーセッション 2-4	スポンサーセッション 3-4	スポンサーセッション 4-3
16:30～17:00	スポンサーセッション 1-5	スポンサーセッション 2-5	スポンサーセッション 3-5	スポンサーセッション 4-4

専用ゾーン1

専用ゾーン2

※上記タイムテーブルは変更となる可能性があります。

SPONSORED MENU

2社限定！貴社テーマに関心の高い視聴者へ訴求可能
 編集部が貴社の訴求したいメッセージをお伺いし、ゾーン全体の概要やゲストセッション候補者のご提案・講演概要の企画をします。

幅広いリストを獲得
 貴社セッションを視聴した関心の高い読者から、イベント全体の申込者まで幅広いリストを獲得可能

協賛セッションのテーマに興味がある参加者へアプローチすることが可能。

スポンサーセッションの準備は難しいけれど、リストを獲得したい！

協賛セッションのテーマに興味がある視聴者のリストを獲得可能。

	ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	全リスト	セッションリスト
スポンサーセッション Live配信 + アーカイブ	●	●	●	-	-
スポンサーアンケート	●	●	●	-	-
全申込者リスト 想定400名	-	●	-	●	-
協賛セッション申込者リスト	想定150名※追加オプションあり	-	想定200名	-	想定200名
自セッション視聴者データ・レポートサイト	●	●	●	-	-
事前アンケート結果	●	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●	●
資料配布	●	●	●	-	-
開催報告書	●	●	●	●	●
料金	¥4,500,000-	¥2,800,000-	¥2,200,000-	¥1,500,000-	¥1,000,000-

(すべて税別・グロス価格)

※ご協賛申込が申込締切日以降となった場合、各プランとも想定の前申込者データ数に達しない可能性があります。
 ※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。
 ※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

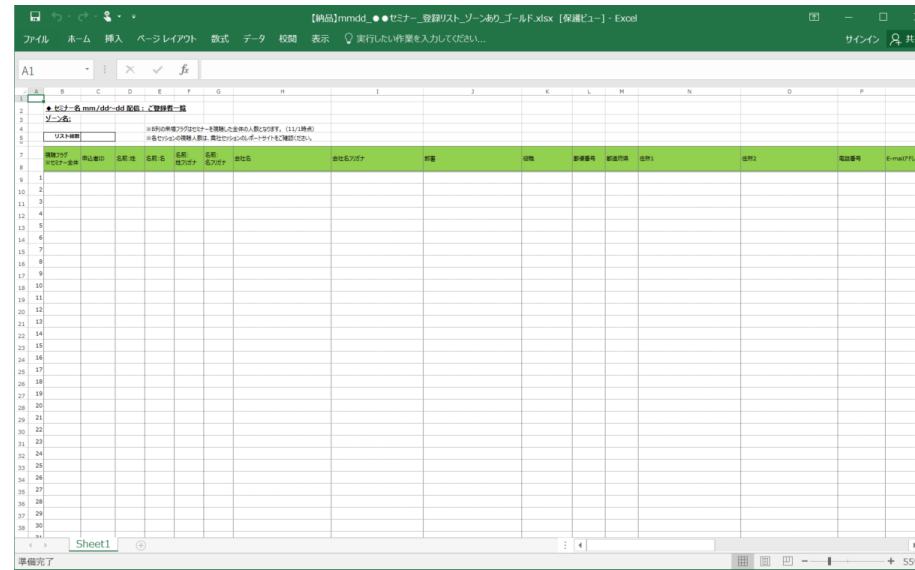
SPONSORED MENU

スポンサーセッション



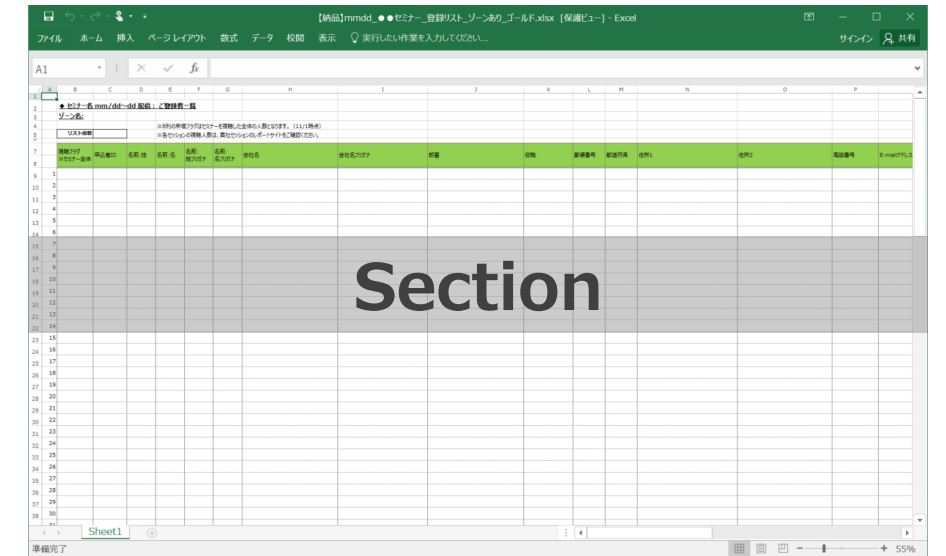
スポンサーセッション枠をご活用いただけます。
ご来社が難しい場合は動画データをご納品いただき、当日配信することも可能です。

全申込者リスト



全申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。
イベント終了後3～5営業日以内にExcelデータ形式にて納品させていただきます。

協賛セッション申込者リスト



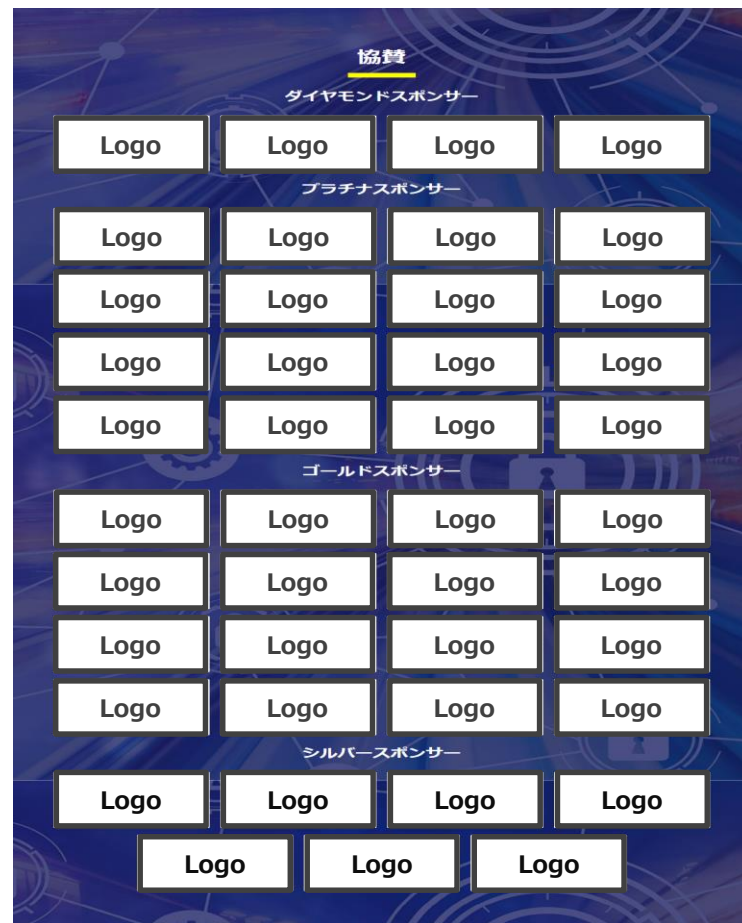
協賛セッションの申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。
ダイヤモンドプランには納品リストを全申込者リストに変更する追加オプションもご用意しております！

※事前申込時に該当セッションを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストがご納品対象です。

※画像はイメージです。

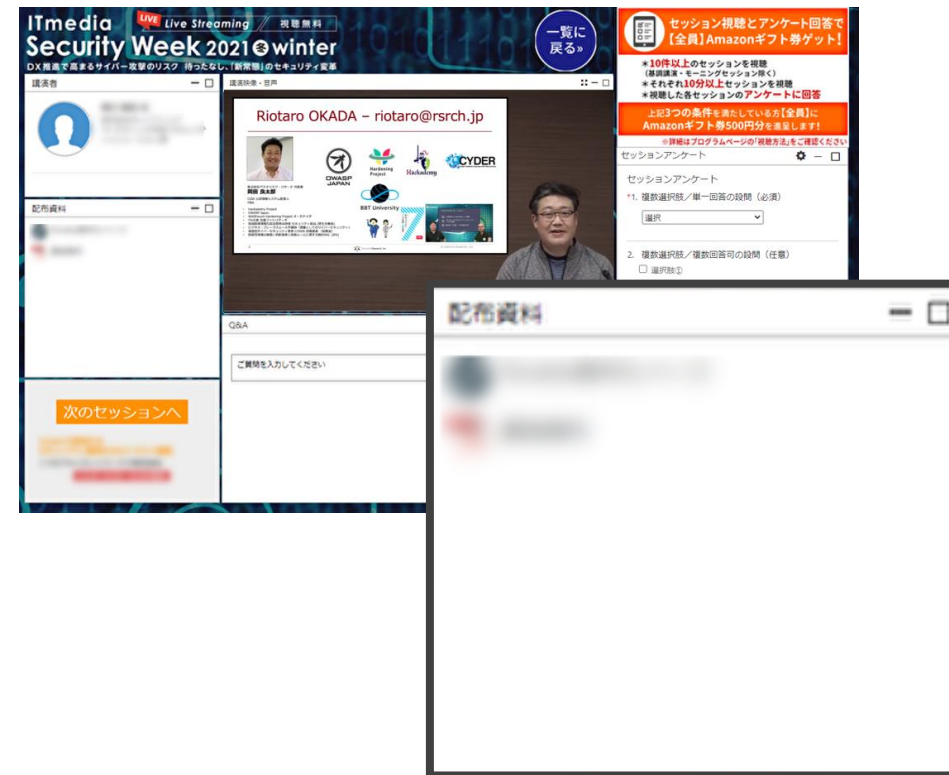
SPONSORED MENU

スポンサーロゴ掲載



イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲示し、貴社サイトへのリンクを設定いたします。

配布資料



貴社セッション内で視聴者に向けて、ご講演資料 + 3点まで資料の配布が可能です。PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能です。

開催報告書



アイティメディアで一般来場者へアンケートを行っており、その集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供いたします。開催報告書内は個人情報を含まない、集計データのご提供となります。

※画像はイメージです。

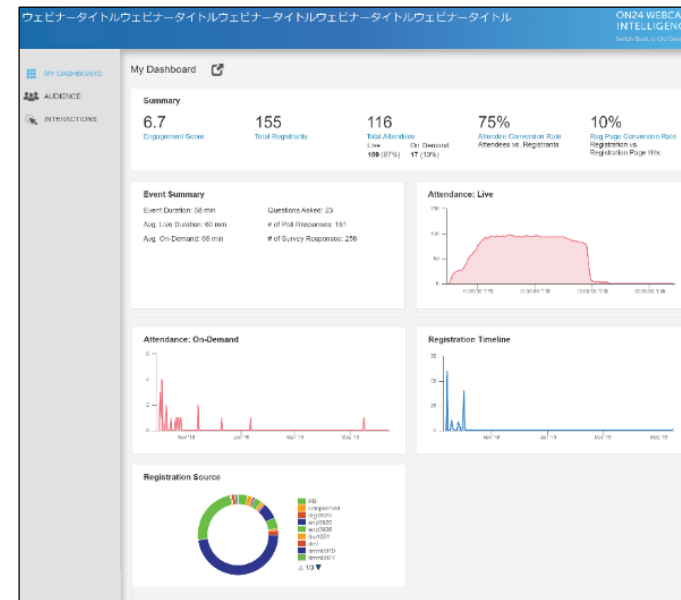
SPONSORED MENU

セッションアンケート



貴社のセッション枠の時間内に、独自のアンケートを実施頂けます。
回答形式は単一回答、複数回答、自由回答の3種類を組み合わせることで自由に設定頂けます。

視聴者データレポートサイト



貴社セッションのレポートサイトをご提供します。
視聴者情報(氏名・役職・所属社名・従業員規模・業種・職種)
セッションの視聴人数
視聴人数の推移、平均視聴時間
Q&A、資料ダウンロードなどの行動履歴など

事前アンケート結果

事前登録時に製品選定における立場や抱えている課題（BANT情報）等も合わせて提供します。
見込み客の選別やアポイントを取るときの事前情報としてお役立てください。
※設問はアイティメディアが設定致します。
個別設定はできません。

※画像はイメージです。

OPTION

LIVEセッション録画データ納品

セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品いたします。
※mp4形式
※配信時のままの状態となるため、編集はありません。

5万円

全申込者リスト納品

ダイヤモンドプランの納品リストを、全申込者リストに変更いただけます。
貴社の専用ゾーン視聴者だけでなく、イベントに参加登録をした全員のリストで、より多くのリード獲得が可能です。

100万円

納品リストへのABMデータ追加

アイティメディアのコンテンツ閲覧状況を分析して得た、各企業の導入検討状況を推察できるABMデータを納品リストに追加します。納品リードから効率的な案件発掘が可能です。
※通常より1営業日遅れての納品となります。
詳細 <http://go.itmedia.co.jp//291242/2022-07-13/29y5sng>

20万円

セッション動画活用リード獲得

セミナーにご掲載いただく講演動画や製品資料をTechTargetジャパン／キーマンズネットに転載。ご準備いただいたコンテンツをそのまま活用し、セミナー終了後にも手間なく【属性＆件数を保証したリード獲得】を継続実施していただけます。
詳細はこちら <http://go.itmedia.co.jp//291242/2022-09-02/2bfy1tr>

30万円～

行動履歴ターゲティングタイアップ

読者の記事閲覧履歴を基に「興味・関心」の高い人を貴社タイアップ記事へ誘導します。
アイティメディアに訪れたことが無くても、同じ「興味・関心を持つ人」を捕捉することでリーチを広げます。
※本メニューは、ライブ/オンデマンド配信、録画データ等を視聴しながら要点をまとめるものです。別途取材は行いません。
詳細はこちら <https://go.itmedia.co.jp//291242/2022-09-09/2bjcm9g>

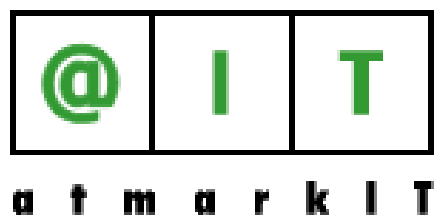
~~170万円~~ → 150万円

アフターフォローセミナー

編集部が貴社の訴求メッセージと読者の関心を掛け合わせた企画を設計。講師のご提案・アサインから、集客(60名)・配信までITmediaがサポート致します。ご希望により、編集部や基調講演講師とのパネルディスカッションも可能です。
詳細はこちら <http://go.itmedia.co.jp//291242/2022-01-30/281s4xh>

~~245万円~~ → 230万円

MEDIA GUIDE

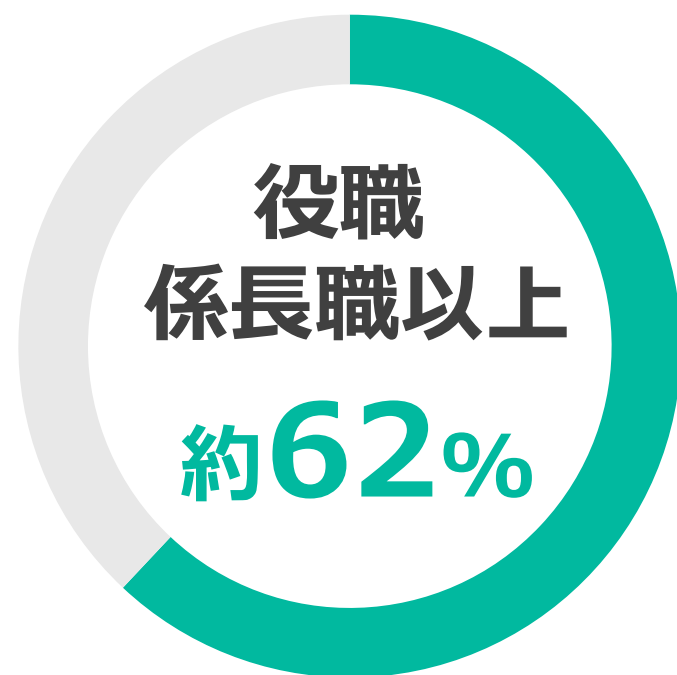


“ビジネスを変革する” ITエキスパートのための技術専門メディア

PV数 約9,300,000件

メルマガ購読数 約450,000件

読者属性



https://atmarkit.itmedia.co.jp/#_ga=2.101091075.3802878.1671692444-224367082.1664503429

SCHEDULE

お申込みからの流れ

- | | | | |
|----|------|------------------------------------|--|
| 01 | 申込締切 | 2023年3月17日(金) | 利用申込書を担当営業にご提出ください。
用紙及びご提出先は担当営業よりご案内致します。 |
| 02 | 告知準備 | | セッションのご講演者情報、ご講演タイトル、貴社ロゴデータなど合わせてご提出いただく、
セッション登録用紙を事務局へご提出ください。 |
| 03 | 告知開始 | 2023年5月下旬 | 事務局にて、イベント告知サイトをオープンいたします。
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。 |
| 04 | 開催準備 | | 配布資料・視聴者向けセッションアンケート設問・動画納品の場合のご講演データなどを
事務局にご提出ください。開催2営業日前までにレポートサイト情報もお送り致します。 |
| 05 | 開催 | 2023年6月19日(月)
～6月22日(木)
※調整中 | ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までにアイティメディアのスタジオ受付
にお越しください。 |
| 06 | レポート | | 会期終了3～5営業日以内に事前申込者のリストをご提出致します。
終了後1～2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。※予定
開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出致します。 |

PRIVACY POLICY

本イベントの個人情報または個人情報を含むデータの提供に際し、以下の点をご確認下さい。

1. (データ授受手続き)

提供する個人情報または個人情報を含むデータ（以下「個人データ」という）を受け渡しの際は「個人情報受領書」に署名をいただきます。

2. (利用目的の制限)

個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスの情報提供に限定してご利用下さい。

本利用目的以外で当該個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

3. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

個人データを元に情報提供する際は、必ず「貴社内の連絡先」「個人データ収集元となったイベント名」および「個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

4. (管理責任者)

個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

5. (安全保管)

個人データの記録媒体を紛失・流出等から保護するように安全管理をお願いいたします。

6. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

7. (委託)

貴社で、個人データの管理を業務委託する際には委託先の監督をお願いいたします。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。

また、アイティメディア株式会社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、アイティメディア株式会社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。

CAUTIONS

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

キャンセル料につきまして

申込書受領後のキャンセルは下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、アイティメディア株式会社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

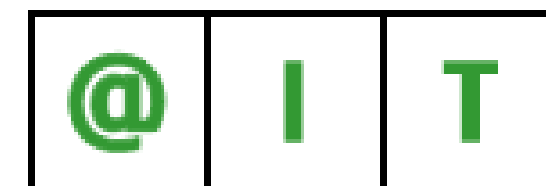
- リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害
映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。
- リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害
万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版をご案内いたします。
- リスク3：電源障害
映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。
- リスク4：機材障害
映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。
- リスク5：視聴側における障害
総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

Thank you!

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル12/13F

MAIL : sales@ml.itmedia.co.jp



a t m a r k I T